

早期糖尿病に対する Ca 拮抗薬 の効果

米・アラバマ大学の研究グループは、Ca 拮抗薬ベラパミルを発症間もない 1 型糖尿病患者に投与して、膵 β 細胞機能の保護に成功したことを報告（第 II 相試験）、詳細が「Nature Medicine」誌に掲載されました。



12 カ月間での混合食負荷試験におけるインスリン分泌はプラセボ群では低下したのに対し、ベラパミル群では低下を認めませんでした。その間、より少ないインスリン必要量（投与量）で低いHbA1cを維持し、40mg/dL未満の低血糖エピソードも少なくすることに成功しました。



今後、新規発症 1 型糖尿病のみならず、2 型糖尿病に対しても有効性が証明される可能性があります。